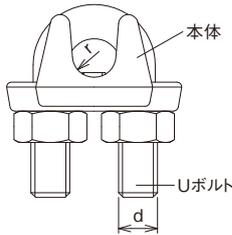


ワイヤークリップ



SUS316 No.	重量 (g)	SUS304 No.	重量 (g)	サイズ (ワイヤ径)	r	d	締付トルク (N・m)	取付個数	取付間隔 (cm)
AK15200	3	—	—	1.5	0.8	M2	—	3	5
AK15201	9	AK15901	7	2	1.3	M3	—	3	5
AK15202	11	AK15902	10	3	1.8	M3	1.3	3	5
AK15203	18	AK15903	17	4	2.3	M4	2.2	3	5
AK15204	28	AK15904	24	5	3.0	M5	3.0	3	5
AK15205	45	AK15905	40	6	3.5	M6	4.4	3	5
AK15206	84	AK15906	78	8	4.5	M8	10	4	5
AK15207	108	—	—	9	5.0	M8	10	4	6
—	—	AK15907	134	9	5.0	M10	16	4	7
AK15208	148	AK15908	155	10	5.5	M10	16	4	7
AK15209	232	AK15909	236	12	6.5	M12	20	4	8
AK15210	289	AK15910	283	14	7.5	M12	30	4	9
AK15211	421	AK15911	414	16	8.5	M14	45	4	10
AK15212	499	—	—	18	9.5	M14	45	5	12
AK15213	868	—	—	20-22	12.0	M18	80	5	13
AK15214	1,191	—	—	24-25	13.5	M20	100	5	16
AK15215	1,589	—	—	26-28	15.0	M22	120	5	17
AK15216	1,860	—	—	30-32	17.0	M22	150	6	20

※材質:SUS316の場合本体はSCS14、SUS304の場合本体はSCS13。

※ワイヤークリップの保持力は、下記のように正しい止め方をした場合でワイヤロープの破断荷重の約80%です。実際に使用する場合は、それに安全率を除いた荷重で使用してください。

ワイヤークリップの正しい止め方

- クリップの間隔と、クリップ終端末部のワイヤロープの長さは、ロープ径の6倍以上にしてください。
- 荷重をかけた前後においてもう一度ナットの締付けを行なってください。
- ワイヤークリップの本体はワイヤロープの荷重がかかる側にあるようにしてください。
- マーキングを施し使用中にスリップしていないか(ずれていないか)確認してください。
- 締付トルクを順守して使用してください。



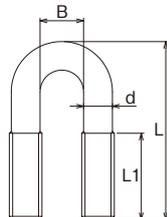
〈正しい止め方〉



〈誤った止め方〉



小型Uボルト



No.	サイズ	d	L	L1	B	ねじ径	重量 (g)
AK6732	20×4.5	2.6	20	10	4.5	M3	2
AK6733	23×5.5	3.5	23	13	5.5	M4	4
AK6734	26×6.5	4.4	26	14	6.5	M5	6
AK6735	33×8	5.3	33	16	8	M6	11
AK6736	40×10	7.1	40	22	10	M8	25
AK6737	52×13	8.9	52	29	13	M10	50
AK6738	62×15	10.7	62	36	15	M12	85

※材質:SUS304 ※ナットは別売です